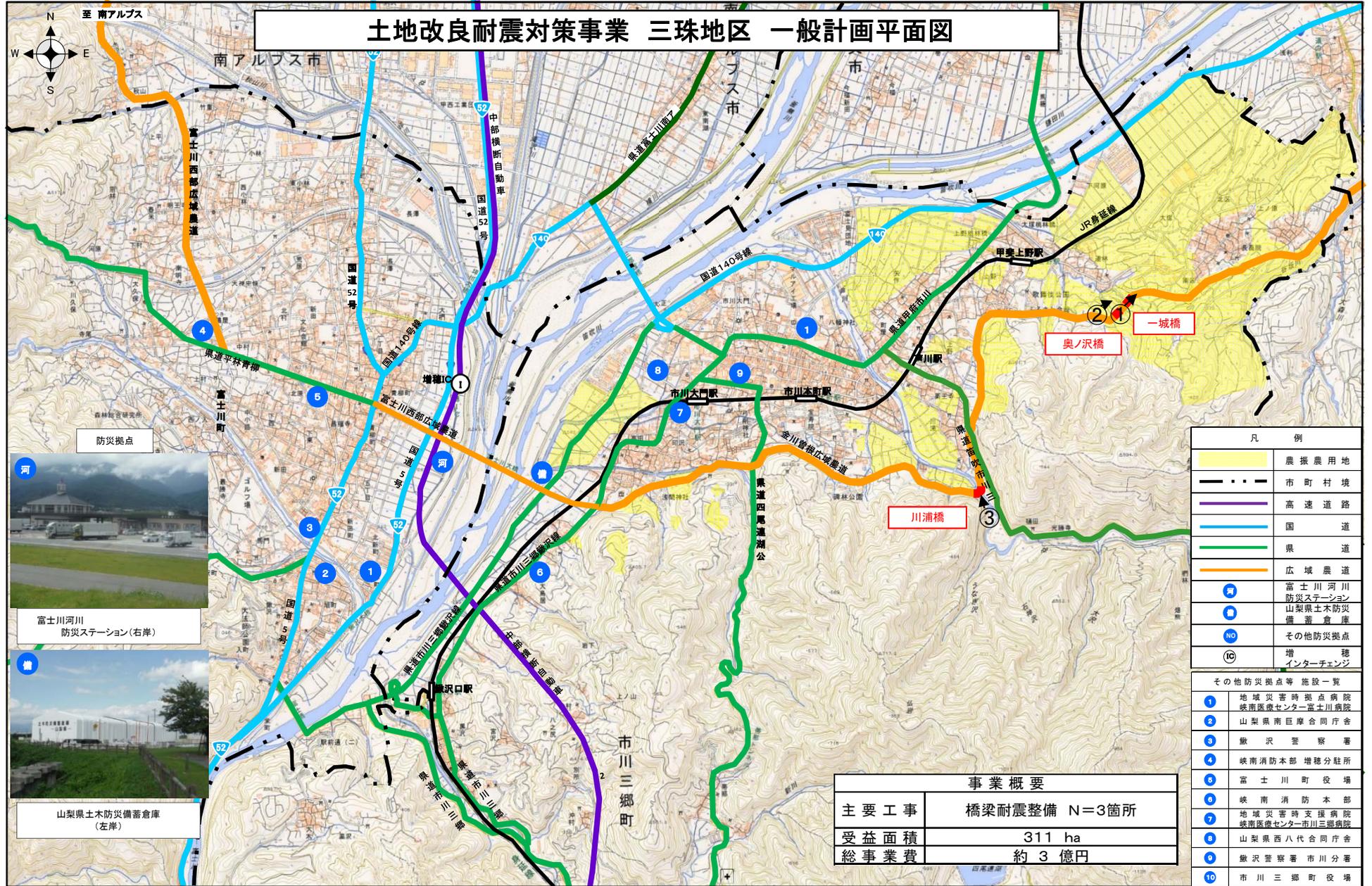


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	土地改良耐震対策事業 (国補)	<b>事業箇所</b>	西八代郡市川三郷町上野他	<b>地区名</b>	み 三 珠	<b>事業主体</b>	山 梨 県																																					
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>																																								
<p><b>①課題・背景</b>                  金川曾根広域農道は市川三郷町から山梨市へと繋がる幹線農道であり、昭和56年の共用開始以降、峡東、峡中、峡南の3地域において、農業の物流を支える重要な路線として活用されており。また本路線の終点である富士川を渡河する富士川大橋は、現在、耐震強化を実施中であり、完成後は通行の安全が確保され、対岸で接続する「富士川西部広域農道」を経由し南アルプス市まで繋がる幹線農道としてさらなる活用が期待されている。一方、金川曾根広域農道の市川三郷町区間では3橋梁 (一城橋、奥ノ沢橋、川浦橋) があり、昭和52、53年の架橋以降、40年以上が経過しており、点検の結果、現行基準の大規模地震を対象とした耐震性能は有しておらず、早期の対策が望まれている。そのため、本事業により耐震化を行い、災害を未然に防ぐとともに、災害に強い道路網を確保し、農業の物流および住環境の安全を確保するものである。</p>				<p><b>②整備目標・効果</b>                  □主要目標 ○災害に強い道路の確保                  ・危険度 橋梁等：耐震未補強                  ・損傷度 橋梁等：対策区分 C判定                  ・緊急輸送道路の指定：なし                  ・自動車交通量 6,472台/12h&gt;3,428台/12h以上(平日)※ (※評価基準値)                  □副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上                  ・対象路線の幅員4m以上道路延長率 100%&gt;79.5%以上※ (※評価基準値)                  □副次効果 ○既存施設の崩壊危険性の排除</p>				<p><b>③事業の妥当性評価</b> 妥当 妥当でない</p> <p><b>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・本地区は災害を未然に防止するための防災事業であり、大規模地震対策特別措置法第3条第1項に基づき指定された地震防災対策強化地域を対象に行うもので行政が行うべきものである。</p> <p><b>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・土地改良法施行令第50条第1項4の3により県が事業主体となって行うべきものである。</p> <p><b>③経済妥当性</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R2 ~ R6</td> <td>基準年</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>231 百万円</td> <td rowspan="4">便益</td> <td colspan="2">300 百万円</td> </tr> <tr> <td>事業費用</td> <td>231 百万円</td> <td>災害時の復旧対策費軽減効果</td> <td colspan="2">201 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>一般交通等経費節減効果</td> <td colspan="2">97 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>走行経費節減効果</td> <td colspan="2">2 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="2">1.3</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・道路橋示方書等最新基準に合致した必要な整備量としている。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・受益面積規模、事業対象工種から、土地改良耐震対策事業で対応することが妥当である。</p> <p><b>⑥環境負荷等への配慮</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・早期着工の要望有り</p>				総事業費	300 百万円	工期	R2 ~ R6	基準年	R1	経済効率性	費用	231 百万円	便益	300 百万円		事業費用	231 百万円	災害時の復旧対策費軽減効果	201 百万円				一般交通等経費節減効果	97 百万円				走行経費節減効果	2 百万円		B/C		1.3			
総事業費	300 百万円	工期	R2 ~ R6	基準年	R1																																							
経済効率性	費用	231 百万円	便益	300 百万円																																								
	事業費用	231 百万円		災害時の復旧対策費軽減効果	201 百万円																																							
				一般交通等経費節減効果	97 百万円																																							
				走行経費節減効果	2 百万円																																							
B/C		1.3																																										
<b>(2) 整備内容</b>				<b>総合評価</b>																																								
<p><b>①整備内容</b> 橋梁耐震補強 N=3橋</p> <p><b>②着手年度</b> 令和2年度      <b>③完成見込年度</b> 令和6年度</p> <p><b>④総事業費</b> 約300百万円                  (国費165百万円(5.5/10) 県費102百万円(3.4/10) 町費33百万円(1.1/10))</p> <p><b>⑤年度別の整備内容 (事業費)</b></p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>測量・設計</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>耐震工事</td> <td>80 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>耐震工事</td> <td>90 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>耐震工事</td> <td>80 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>耐震工事</td> <td>20 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>				令和2年度	測量・設計	30 百万円	令和3年度	耐震工事	80 百万円	令和4年度	耐震工事	90 百万円	令和5年度	耐震工事	80 百万円	令和6年度	耐震工事	20 百万円	<p><b>⑧既整備内容・期間・事業費</b></p> <p>・事業名 広域営農団地農道整備事業 (金川曾根地区)</p> <p>・整備内容 農道工 L=22km</p> <p>・整備期間 昭和45年度~昭和56年度</p> <p>・総事業費 591 億円</p>																									
令和2年度	測量・設計	30 百万円																																										
令和3年度	耐震工事	80 百万円																																										
令和4年度	耐震工事	90 百万円																																										
令和5年度	耐震工事	80 百万円																																										
令和6年度	耐震工事	20 百万円																																										
				<p><b>(4) 事業位置図等</b></p> 																																								

## 2. 添付資料シート(1)



## 2. 添付資料シート(2)



①一城橋全景 支承部の腐食



②奥ノ沢橋全景 主桁と支承部の腐食



③川浦橋全景 支承部の腐食



④橋台と主桁を連結する落橋防止装置(イメージ)